

神が私たちと共におられる (平和)  
ポー・スターン・ブレイディ  
2023年・12月・10日

10月にイスラエル戦争が勃発したとき、私たちは世界が平和を強く求めていることを即座に思い出しました。私たちは、何世紀にもわたって世界で行われてきた残虐行為の最前列を私たちに与えたテクノロジーの進歩の結果、恐怖が目の前で展開するのを目の当たりにしました。どうやら、完全に相互接続された世界を創造する私たちの能力は、その世界の中で互いに平和を生み出す私たちの能力を向上させるのには役立っていないようです。

私たちは平和を切望しています。私は平和を望んでいます。私の孫たちが直面するであろう人生について疑問に思います。そして、この地球を自分が思っていたよりも平和に残すために私は何かをしているだろうか？と疑問に思います。(統計 - アメリカの不安は、50年代に人々が施設に収容されていたであろうレベルにあります。)私たちは狂ったように恐れている人間です。どうすれば平和を見つけられるのでしょうか？

旧約聖書では、イスラエルが敵との戦いで勝利を収めた後、作家は「そしてイスラエルは四方八方に安息をもたらした」という言葉で物語を終えることがよくあります。

それはシャロームのとて美しい定義です。あらゆる面で休むということです。少し時間をかけて考えてみてください。真の平安、つまりあらゆる面で休息を得ているという点で、あなたの人生は今のよう感じていますか？不安、傷害、混乱にさらされている、または脆弱であると感じる側面はありますか？(平安のない人生の結果:間違った決断、落胆と憂鬱、衰弱する不安、人間関係の距離など)

イエスは大きく大胆な称号を持って私たちの世界に足を踏み入れました。イザヤ書 9 章ではイエスを「平和の君」と呼んでいます。王国が平和でできている王子。鉄の手ではなく、無限の愛で統治する王子。この同じ王子は弟子たちにこう言いました:

”わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。”  
ヨハネによる福音書 14:27 口語訳

彼は私たちの平和の王になるだけでなく、同じ平和を私たちに残すことも約束しました。このことから、私たちはそれをどのように経験するのかという重要な疑問が生じます。その中で私たちはどうやって生きていくのでしょうか？これを理解しようとするとき、一つの言葉が何よりも役立つと思います。それはある種の平和を活性化するものであり、その言葉は「視点」であるため、その言葉には多くの可能性が秘められています。

平和についての 1 つの視点は、「自分の周囲の状況をコントロールできれば、私の人生は平和になるだろう」というものです。十分なお金を貯めたり、適切な仕事に就いたり、適切な人間関係を築いたり、適切なセキュリティシステムを家に設置したりできれば。私たちの政府に適切な指導者がいれば、他国と適切な同盟を結び、国境を守り、武器を備蓄できれば。これらのシステムは、私自身がコントロールできる範囲内に平和をもたらします。神との関係においてさえ、私たちはそれを理解したい

と思っています。どのようにしてルールを理解し、境界線の内側に留まり、神を良い側に保つことができるのかを確認するにはどうすればよいでしょうか？平和をもたらすシステムを構築するにはどうすればよいでしょうか？

今週私が反芻しているマシューの奇妙な小さな物語があります。サドカイ派 - 彼らはイスラエルの法律を隅々まで知っている人たちです。彼らは専門家です。彼らはトーラーのすべての行を研究し、それを暗記しました。それなのに...彼らは難しい状況を抱えてイエスのもとにやって来ます。

マタイ 22. 不運にも 7 人の夫を亡くした女性...その後自分も死ぬ...復活したら誰の妻になるのでしょうか？彼らはイエスを自分たちのシステムに閉じ込めようとしています。なぜなら、彼らのシステムがすべての人をコントロールできるからです。彼らはルールを作り、それを強制します。彼らは秩序ある宗教生活を維持しています。イエスは、「聖書も神の力も知らないからあなたは間違っている」と答えます。

イエスは彼らに、あなた方は自分ではコントロールできない神の前で自分がコントロールできるシステムを構築しようとしている、と言いました。自分の似姿に似せて神を創造しても、決して平安は得られません。神は、私たちに真の平和への唯一の道を示すために、喜んでやって来て、私たちの既存のシステムをひっくり返そうとするので、神の力を飼いならすことでは決して平和を見つけることはできません。

黙示録 1 章は、アドベントの第 2 主日であるこの日にぴったりだと感じる美しい一節です...

これはイエス・キリストの啓示です...

恵み(神の過分の恵み)があなたに与えられ、霊的な平和(キリストの国の平和)が、今おられる方、かつておられた方、そしてこれから来られる方から、そして忠実で信頼できる証人、死者の中から初子であるイエス・キリストから与えられますように。(最初に生き返った者)そして地球の王たちの王子。私たちが愛し、かつてご自身の血によって私たちを罪から解放し、私たちを王国、神と父の祭司として形造ってくださった方に、栄光と力と威厳と栄光がありますように。時代を超えて、そして永遠にその支配。アーメン。

ヨハネは続けて、神の計り知れない力を最も美しく広がりのある方法で説明します:

”今いまし、昔いまし、やがてきたるべき者、全能者にして主なる神が仰せになる、「わたしはアルパであり、オメガである」。”

ヨハネの黙示録 1:8 口語訳

黙示録の幻は、その力が私たちのすべてのシステムを打ち破る神のことを描写しています。その力は私たちの力をはるかに超えており、それに比べれば、どんなコントロールの幻想もばかげているように見えます(例)。私の牧師はかつて、恐怖は恐怖の悪用であると言いました。想像力の賜物。私たちの想像力は、何が起るか、何がうまくいかないかについて暴走します。聖霊の影響に対して想像力を広げたらどうなるのでしょうか？私たちの偉大な神に、私たちの世界、家庭、心配事、決断の中で働いている神の力についての思いと夢で満たしてくださいとお願いしたらどうなるのでしょうか？旧約聖

書を通して、神は常に、常に大きな敵と対峙しているイスラエルの民に、歴史を通じて神の忠実さを再確認せよと告げています。物語をもう一度語ってください。お互いに思い出させてください。これが神が私たちにとってどれほど大きな存在であるかということです。このようにして彼は私たちの平和の君であり続けました。そうすることで、彼らは自分たちを滅ぼそうとするものの力ではなく、神の力に視点を移しています。(私は最近これを行っています。恐怖が漂い始め、ざわめき始めると、神が私のためにしてくださった素晴らしいことを思い出し、私が休んでいる間、神がまだ行うことができるすべての素晴らしいことで私の想像力を満たしてくださいと神に頼みます。神...エペソ人への手紙 3 章には、彼の力は私が想像できるものよりもさらに大きいと書かれています。だから私は夢を見続け、私に対する神の慈しみと愛に心を留め続け、世界の中で生きる許可を自分に与えるつもりです。そこから生まれる平和。)

神の力に対する私たちの見方は、最終的には私たち自身に対する見方、そして人類の歴史のタイムラインにおける私たちの位置を決定します。

ヴァルター・ブリューゲマンはこう言っています:

「私たちがアルファではないことを認識するのは、アドベントの厳粛な告白です。私たちは出発点ではなく、自分で作ったものでも、自給自足したものでもありません。私たちの前にも後ろにも、信頼して感謝して受け取るべき純粋な贈り物である命の力があります。私たちがオメガではないことを認識することは、アドベントの同様に厳粛な告白です。」私たちはすべての終わりではありません。

私たちはタイムライン上の究極の点に立っています。私たちは何年もの歴史の結果の上に立っていると感じるのがよくあります。人々はこう言います。「世界はこれほど悪化したことはありません。」善意のため、道徳のため、あるいは教会のため...しかし、これよりも悪いこともあれば、より良いこともありました。私たちは目的があって意図的にここにはいますが、神が私たちにすべての結果をコントロールするよう求めたからではありません。それでは、彼は私たちを何のために呼んだのでしょうか？イエスはこの降臨において私たちをどのような人生に招いておられるのでしょうか。

彼が弟子たちに提供したのと全く同じ人生、つまり平和な人生です。私たちの制度や政治、将来に対する失望や恐怖を超越した平和です。私たちの前に去った平和。私たちとともにある平和。目の前にある平和が私たちを待っています。(毎分の話。)

彼は神であり、私はそうではないことを理解すること。彼の約束は、困っている私に寄り添ってくれること...私が抱えている問題を先回りして抜け出すこと、さらには私の歴史のページを進んで、私が二度と行きたくない辛い場所に平和を築く手助けをしてくれることだということ。平和の力を知ることは最大の賜物であり、平和は神への信仰を通して生まれますが、「結果はコントロールできないが、その過程で神を信頼することはできる」という平和第一の視点を培うことでも生まれます。私は、かつて、現在、そしてこれから来る人を信頼できます。ファインダーの焦点を再び合わせて、この瞬間に神を見ることができます。私は永遠の結果を見ることを選択します(これを発展させます)。

朝と夕方の平和の瞬間:私の世界と私の心の中の世界に働くあなたの力と善のビジョンで私の想像力を満たしてください。平和の君の隣に椅子を引いて、混乱と狂気の瞬間であっても、ただ愛されることが何を意味するのかを教えてください。私は混乱しているように感じられる空間にあなたを招待

し、そこで私は必死にコントロールを取り戻そうとしています。そして、私よりも飛躍的に大きいあなたの力に耳を傾け、待ち、信頼する方法を教えてくださいとお願いします。すべてが私の思い通りにうまくいくわけではないかもしれませんが、私が必要としている方法で私に平安を与えてくれる力です。